

2022年度 第7回 地方独立行政法人明石市立市民病院評価委員会 議事録

1 日 時 2023年1月31日(火) 午後14時～15時40分

2 場 所 明石市立市民病院 本館2階 講義室

3 出席者(委員)

明石純委員長

日下孝明副委員長

中田精三委員

工藤美子委員

武田英彦委員

4 議 事 公開

5 概 要 (1) 第4期中期計画(案)について
傍聴者 なし

<資 料>

資料1…第4期中期計画(案)

資料2…第4期中期目標・計画対照表

資料3…意見書(案)

6 議 事

1. 開会	開会の宣言
2. 議事 委員長	<p>前回の評価委員会後に、各委員からの意見を集約のうえ法人に提示後、次の2点を主な観点として最終案を作成いただいた。</p> <p>ひとつは、中期目標をしっかりと中期計画にブレークダウンしているか。具体的になりすぎると年度計画への落とし込みがしづらいので、レベルとしては中程度の計画が掲げられているか。</p> <p>もう一つは、法人の運営・経営水準が上がってきているなかで、職員間で共有及び実施しやすく、また、取り組みの結果を評価しやすいよう、明確に表現されているかがポイントとなる。</p> <p>まずは法人から最終案の第1から第2までに区切り、説明をお願いする。</p>
法人	<u>資料2</u> 第4期中期目標・計画対照表に基づいて第1から第2まで説明。
委員長	第2-Iの3(2)地域共生社会における役割の推進については、病院としては、あくまで医療の部分での取り組みであり、共生社会を構成する要介護者、障害者、子育て世代等への福祉的活動を担うものではなく、その周りの医療というところだが、内容に違和感はないか。
法人	現在、地域共生社会の実現については、全国的に行政の取り組みとして推進されているので、市民病院としても協力していきたい。
委員長	ほかにご意見、指摘はないか。
委員	第2のIIの1「利用者本位の医療サービスの提供」の「医療における信頼と納得の実現」で①の3項目目に“前方/後方連携および入退院支援に係る組織体制の強化を図り、よりシームレスな患者の受入とサポートを提供する。”がこの項目に入っている理由を説明いただきたい。ここには合わないのではないか。
法人	ご意見のとおり、ここは地域連携とは病診連携等の項目に入る文章となるので修正したい。
委員	地域共生の話だが、子育て世代への対応という点では、‘次世代包括支援’という言い方をしており、そういった意味でも包括して支援していく対象になると考える。予防接種なども子育て世代への支援に入るのではないか。
委員長	例えば、通常の小児科の治療の中でも、親御さんに向けての周辺サービスもあるかもしれない。そういった保険診療でできること、自費で医療的なサービスでできること、政策的なところ、など、少しイメージして含めてもらったらよい。
委員	あと同項目の①の中期目標の内容に対応していない文章が入っている。
法人	再度確認し修正する。
委員長	第2-IIの1(2)利用者本位のサービスの向上の②の“将来に向け持続可能な医療提供体制を整備するべく、適切な時期を見極め整備計画の検討を行

	<p>う”については、第4の2(2)計画的な投資のところで、全体な病院の整備に関する展望を持ちつつ準備をするというかたちで出している。この項目では、患者サービスにまつわるハード面の細かな対応が必要となるような整備を想定しているので、ここで述べる文面としては規模が大きすぎると思う。</p> <p>究極的には建物全部の建替えや、待合フロアや病室も含めての整備ということにはなるが、ここでは、患者サービスの向上に向けて、現行の建物において、改善すべきハード面を改善していくという視点が必要である。</p>
委員	<p>現状を踏まえて、まずは改善すべきところを洗い出すということも必要である。その中で、対処できるところは改善を進めて、なかなか対処が難しいところもあるということ把握することも、計画の一つの結果であると思う。</p>
法人	<p>法人としても、患者に対するサービスというのは、様々なかたちで増えてくるので、病院を建て替えるまでの間にも、ハード面での計画を練っていくということは必要になってくると考えている。</p>
委員長	<p>ほか、ここまでで、ご意見等はあるか。</p> <p>(なし)</p> <p>続いて、第3から第4までの説明をお願いします。</p>
法人	<p><u>資料2</u>第4期中期目標・計対照表に基づいて第3から第4まで説明。</p>
委員長	<p>まず、第3のところで意見はあるか。</p>
委員	<p>常勤医師数のみを目標値として掲げ、看護師数等に関する設定がないことについて、説明の中で医療収益に直結する要素の指標として捉えているためと述べられていたが、常勤医師数の目標値については、第4の1(1)収入の確保の項目だけでなく、第3の1(1)②の働き方改革に関する項目の中にも記載がある。医師については、診療に対する負担が大きく、働き方改革の観点からも人数を増やす必要があるということなのか。</p>
法人	<p>各診療科医師一人あたりの平均診療患者数の全国平均と比較すると、当院は医師への負担が大きいという状況があるため、適正な数を確保し、働き方改革に取り組む必要があるという意図がある。また、働き方改革について、医師以外の各職種に関する目標値については、年度計画の中で記載していく予定である。</p>
委員長	<p>同じ目標値に対して、観点が違うということはあるとは思いますが、常勤医師数の目標値の記載が重複しているのは望ましくない。</p>
法人	<p>第3の1(1)②のほうの記載を削除する。</p>
委員長	<p>第3の2(1)役員の責務のところで、中期目標に基づくと、①は経営の改善に関する事項、②は内部統制に関わる事項となるはずだが、計画の②に記載されている内容は全て、①に含まれるべきものである。</p>

法人	ただ、内部統制については、どこまでの内容を書くべきなのかイメージがつかみにくい。
委員長	①は、中期計画に基づく組織内部の管理・監督に関わる部分で、経営の中身に関する事、②は、むしろ外形的な法令順守に関わる部分で、方針を確実に守っているか、倫理を含む規則を守っているなど制度面の整備に軸足をおいた観点になる。
法人	内容を整理して修正する。
委員長	第3の1(1)②の働き方改革に関する項目の中に、“チーム医療の水準の向上をさせるとともに”という表現があるが、一般的にチーム医療というのは、医療の質の向上をさせるための多職種協働を意味することが多いが、この意味合いとしては、タスクシェアリングということか。
法人	確かに、チーム医療が多職種協働に関するキーワードになるので、働き方改革に相応しい表現に変更する。
委員長	続いて、第4に移る。 数値目標については、コロナ禍以前の数字を基準にしている項目と、そうでない項目が混在しているので統一した方が良いと考える。
法人	修正する。
委員	第4の2(2)計画的な投資の部分について、今回は第4期中期計画だが、第5期につながっていくような文章を入れていただくのが良いのではないかと感じるのだが。
法人	今後の病院の再整備ということを考えたときに、次期目標期間は重要な4年間であると認識しているが、公立病院なので、市の意向を踏まえて進める必要があり、現在のところは、このような表現にとどめざるを得ない。 老朽化により、建物のライフライン関連設備に突発的な修繕の必要が生じる場合があるが、工事を行うとなると騒音の問題があるため、工事箇所周辺の病棟を長期間にわたり閉鎖することになる。想定外の収入減少につながることであり、計画的な投資の見通しが難しい面がある。
委員長	計画的にできるところについては、計画通りにやっていくしかない。 そのほか、委員及び市から意見はないか。 (なし) では、今後、この「第4期中期計画が妥当である」という意見書をつけて市長に提出することになる。今回の審議を受けて、多少の修正が入ることにはなるが、表現上の問題だけなので、内容については委員から承認いただいたという認識でよいか。

	委員 異議なし では、承認させていただく。以上で、今回の審議は終了する。
3. その他 市事務局	第4期中期計画の認可までの今後の流れについて説明。
委員長	最後に、市から挨拶を願する。
副市長	挨拶
4. 閉会	以上を以て、第7回評価委員会を終了する。